

2014年4月3日

## IoT クラウドサービスワーキンググループ 企画書

二木真明

### (1) ワーキンググループの名称

IoT クラウドサービスワーキンググループ

### (2) ワーキンググループの目的

IoT (もしくは M2M)、とりわけスマート家電などに対して、クラウドから提供される各種サービスへの脅威とその対策について検討、提言を行う。

### (3) ワーキンググループの設置理由・背景等

昨今、IoT という言葉で代表されるように、コンピュータ以外の様々なデバイスがインターネットに接続されるようになっている。一方、こうしたデバイスの多くに、そのメーカーなどが提供するサーバとの通信機能があり、これらを通じて、機器の様々な機能の実現、ソフトウェアの更新管理などが行われている。IoT においてのこうした集中管理サービスは多数のデバイスへの広範な管理が必要なことから、クラウド上に実装される場合が多く、またこうしたサービスへの侵害はただちに、多数のデバイスへの侵害に繋がる可能性が高く、クラウド利用という面においても差し迫った課題と言える。現在、CSA 本部に対して同様のリサーチプロジェクトの提案を行っているが、日本としてこの WG を先行立ち上げすることで、世界的な動きをリードしていきたい。

### (4) ワーキンググループの調査研究対象範囲または対象とする項目

本ワーキンググループは、当面、以下を検討対象とする。

①IoT に対するクラウドサービスへの脅威の洗い出しと文書化

②個々の脅威に対する対策提言とガイダンス文書の作成

(以降の内容は、グローバルでのプロジェクト立ち上げを待つて決めていく)

### (5) ワーキンググループの目標成果物

①IoT サービスクラウドへの脅威 (N 大脅威)

②IoT サービスクラウドセキュリティ対策ガイダンス

### (6) IoT ワーキンググループ・メンバー

活動期間中、Cloud Security Alliance/Cloud Security Alliance Japan Chapter の LinkedIn 登録メンバーや会員企業から、当 WG に関心のあるユーザーを随時募集する。個人メンバーは、原則、個人会員として CSA-JC に入会を強く推奨するが、当面、サポーターとしての参加も認める。また、関係諸団体との連携も必要と考えるため、協力関係を結んだ団体の構成員に対してオブザーバーとしての参加を認める。(当初段階では JNSA を想定)

(7) **CCM ワーキンググループへの参加方法**

mfutagi@cloudsecurityalliance.jp まで、以下の内容を記述してメールを送ってください。なお、件名に「IoT WG 参加希望」と記述してください。

1. 氏名
2. 会社名あるいは所属
3. 参加資格： CSA-JC の会員、あるいは、サポーターを記述

(8) **ワーキンググループの活動予定期間**

本ワーキンググループは、本設置企画書に定める成果物のために、2014年5月1日から2016年5月31日まで活動し、その時点で次年度活動の更新を検討するものとする。

(9) **CSA のグローバル活動等との関連性の有無および内容**

活動期間中、CSA のグローバルレベルで実施される定期ミーティング、ドキュメント類作成・ピアレビュー、イベント・PR 告知等を積極的にサポートする。

本ワーキンググループにおけるコミュニケーションは、日本語および英語を使用する。

以上